

病院の概要

- 病床数 923床
- 医師数(研修医を除く) 281名(うち指導医数 191名)
- 研修医数 1年目 22名 2年目 17名
- 研修医の主な出身大学 岩手医科大学・川崎医科大学・金沢医科大学・群馬大学・埼玉医科大学・帝京大学・東海大学・獨協医科大学・福島県立医科大学・山梨大学 他
- 診療科 糖尿病内分泌・血液内科 呼吸器・アレルギー内科
消化器内科 循環器内科 腎臓内科 神経内科 小児科
こころの診療科 皮膚科 総合診療科 放射線科 外科
整形外科 心臓血管外科 呼吸器外科 小児外科 産科婦人科
眼科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 泌尿器科 形成外科
救急医療科(救命救急センター) 麻酔科 子どものこころ診療センター 乳腺科
リハビリテーション科 遺伝カウンセリングセンター リプロダクションセンター
臨床検査部 病理診断科
- 1日平均外来患者数 1728.4名 ● 1日平均入院患者数 682.5名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院(埼玉DMAT指定病院)、地域がん診療連携拠点病院



研修プログラムの特色

- (1) 厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
- (2) 必修科目である内科6か月、救急部門3か月、地域医療1か月に加え、選択必修科目である外科1か月、麻酔科2か月、小児科1か月、産科婦人科1か月、精神科1か月に履修し、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間8か月では、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、小児科及び産科婦人科に特化したプログラムも設けています。
- (3) 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
- (4) 臨床研究の基礎トレーニングができます。
- (5) 医師としてのキャリア構築につながります。



プログラム 例 一般プログラム(募集定員46人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目▶	内科						救急部門			外科	麻酔科		
2年目▶	希望履修選択科目									小児科	産科婦人科	精神科	地域医療

必修科目(厚生労働省指定): 内科6か月、地域医療1か月、救急部門3か月

必修科目(当院指定): 外科・小児科・産科婦人科・精神科各1か月、麻酔科2か月

希望履修科目8か月: 当院及び獨協医科大学病院の標榜する全ての科を選択可能

※研修の順序については、各自のローテートによって異なる。

その他 小児科プログラム(募集定員2人) 産科婦人科プログラム(募集定員2人)

研修医の処遇

給与▶40万円/月(当直4回分の手当含む)

諸手当▶当直手当

保険▶日本私立学校振興・共済事業団(公的医療保険/公的年金)、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険(施設及び個人)加入

勤務時間▶獨協医科大学埼玉医療センター就業規則による。

当直▶あり(4回程度/月)

休診日▶日曜、祝日、第3土曜日、開学記念日、年末年始

休暇▶第1土曜日(研修医のみ)、夏期休暇5日間/年 他

宿舎▶あり(有料)

その他▶学会、研究会への参加費用支給・健康診断年2回・採用時健康診断・各種予防接種 他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・獨協医科大学病院
- ・春日部厚生病院
- ・越谷市立病院
- ・越谷市夜間急患診療所
- ・越谷ハートフルホスピタル
- ・順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院
- ・東埼玉総合病院
- ・北辰病院

当院の魅力

新しくなった当院で研修しましょう！

平成29年11月、当院は「獨協医科大学埼玉医療センター」として生まれ変わりました。

新棟開設により、200床の増床、手術室を22室へ増設し、県内最大規模の病院となりました。平成30年度には周産期母子医療センターを開設し、救急医療の充実も計画されています。

これだけの大規模でありながら、2つの駅から徒歩3分と交通アクセスが良く、県内外から多くの患者さまがいらっしゃいます。大学病院でありつつ市中病院の役割も担い、最先端医療から一般的疾患まで、幅広い症例を経験できます。

研修医には他大学出身者も多く、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、切磋琢磨しています。ほとんどの研修医はオン・オフの切り替えがうまくできており、新しくなった研修センターでのびのびと研修しています。

初期研修後は専門医研修制度も整備しております。また、大学院医学研究科の社会人大学院制度を利用して、勤務しながら学位（医学博士）の取得も可能です。



研修責任者から

当院は埼玉県東部地区に位置し、180万人の基幹病院として地域医療の重要な役割を果たしております。平成29年11月に新棟が竣工され、平成30年4月からは923床となり、救急医療の充実、周産期母子医療センターの稼働、手術室は22室に増設、埼玉県の最大級の病院として名称も獨協医科大学埼玉医療センターと改めました。

研修センターも新棟に移設され、シャワー室等の設備も充実しました。

当院では、研修医の皆さんはもとより、各診療科の先生方からの提言を頂きながらシステムの改良、改善に努めております。ほぼ毎週行われている研修医向けカンファレンスでは、実践的で重要なポイントを解りやすく解説していただいています。お蔭様で、平成30年のマッチングでは

100名を超える応募を頂き、他大学の卒業生も多くいらっしゃいます。是非、あなたも当院で卒後研修を行ってみませんか。



臨床研修センター長
上田 善彦

先輩研修医から

初めまして。獨協医科大学 埼玉医療センター 研修医 1年目の古川です。

私がこの病院を選んだ理由は地域の基幹病院であるため幅広い症例が経験でき、豊富な臨床経験が積めると思ったからです。

基本的な手技から専門的な知識まで、上級医の先生達から熱心に親切に教えて頂くことが多く、この病院を選んで良かったと思っています。今は毎日が勉強になっており、充実した研修生活を送っています。

私達の病院は昨年の11月から新棟も建ち、県内で一番の病床数となりました。是非一度病院見学に来てみてください！研修医一同で楽しみにお待ちしております。



研修医 1年目
古川 葵

女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通し、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週3回24時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

他に、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修）の身分を保有したまま、週20時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。

（女性医師支援センターサイト：<http://www.dokkyomed.ac.jp/jyoseiishi-k/index.html>）



連絡先 獨協医科大学埼玉医療センター

臨床研修センター 中林 馨

〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50

TEL 048-965-7842(直通) FAX 048-965-9356

E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp

URL <http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/>

アクセス ・ J R 武蔵野線 南越谷駅下車徒歩3分
・ 東武スカイツリーライン 新越谷駅下車徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学のお申込み手順
 - 1) 左記URLよりサイトへアクセス
 - 2) メールフォームにてお申込み
 ※見学は随時受け付けております。詳細はお問い合わせください。
- Facebookページ：
<https://www.facebook.com/dokkyo.k.kenshu/>